

小学六年

適性検査 D

解答と解説

1

問一	A
	ア
	B
	ク
	C
	ス
	D
	サ
	E
	シ
	F
	コ
問二	ア
	○
	イ
	×
	ウ
	×
	エ
	○

問三 【例】 都市化にともなって高い建物が建てられたため。

問四 【例】 当時は現在とはちがいで、交通が発達していなかったため、移動手段はほとんど徒歩となっていた。そのため、富士山に行く日程も長く、費用もかかることから、直接富士山にお参りに行くかわりとして、近くに富士塚をつくったと考えられる。

問五	①
	ア
	②
	エ
	③
	4
問六	エ

問七 【例】							
原因	か	え	つ	技	の	が	思
①	ら	ら	て	術	結	で	う
デ	、	れ	流	の	果	き	。
ザ	消	る	行	素	、	、	。
イ	費	。	を	晴	元	再	
ン	者	そ	取	ら	々	び	
や	に	こ	り	し	の	消	
見	選	で	入	さ	製	費	
た	ば	、	れ	を	品	者	
目	れ	伝	た	広	に	に	
に	統	的	製	く	注	選	
新	く	的	品	知	目	ば	
し	芸	工	を	つ	し	れ	
さ	な	芸	工	つ	し	れ	
が	な	品	品	も	て	よ	
な	て	の	の	ら	も	う	
い	い	技	技	え	ら	に	
こ	る	術	術	る	う	な	
と	と	を	を	。	こ	る	
	考	使	使	そ	と	と	

【解説】

① 富士山、日本の伝統的工芸品をテーマにした問題

この問題は、「日本らしさ」について調べ学習をしたことをもとにした問題です。今回は日本を代表する山、富士山にまつわる問題と伝統的工芸品についての問題です。富士山は2013年6月、世界文化遺産に登録され、富士山という自然の営みに宗教性、芸術性を見出してきた日本人の自然観や文化観が、国際的に認められました。

また、伝統的工芸品とは、

- ・主として日常生活の用に供されるもの
- ・その製造過程の主要部分が手工業的
- ・伝統的な技術又は技法により製造されるもの
- ・伝統的に使用されてきた原材料が主たる原材料として用いられ、製造されるもの

一定の地域において少なくとも数人の者がその製造を行い、または、その製造に従事しているもの

右記5つの項目を全て満たし、伝統的工芸品産業の振興に関する法律（昭和49年法律第57号）に基づく経済産業大臣の指定を受けた工芸品のことをいいます。どちらも日本の文化と切りはなせず、「日本らしさ」を象徴するものといえるでしょう。

問一 B1 情報を獲得する 比較 推論

日本には富士山の形に似ている地元（ちよん）の山に親しみをこめ「○○富士」と名づけられた山があります。これを郷土富士といい、日本には数多くの郷土富士があります。郷土富士の名前は、その地域の名がつけられていたり、昔のその地域の名がつけ

けられたりするものも多くあります。A～Fの郷土富士はいずれも昔のその地域の名からつけられています。

この問題は資料2を参考にし、郷土富士の名前と地名を照らし合わせて考えます。左の表で山のある都道府県名をのせておきますので、地図帳などで確認してみましょう。

郷土富士の名前	山の名前	山のある都道府県名
会津富士	磐梯山	福島県
蝦夷富士	羊蹄山	北海道
越後富士	妙高山	新潟県
薩摩富士	開聞岳	鹿児島県
讃岐富士	飯野山	香川県
信濃富士	黒姫山	長野県
知床富士	羅臼岳	北海道
津軽富士	岩木山	青森県
出羽富士	鳥海山	秋田県・山形県
南部富士	岩手山	岩手県
日光富士	男体山	栃木県
豊後富士	由布岳	大分県
伯耆富士	大山	鳥取県

問二 B1 情報を獲得する 比較 推論

富士山の登山者数の推移をみて、正誤を答える問題です。アの前年比の減少率は、（該当の年の数値÷前年の数値×100）で求めることができます。前年比の減少率がもつとも大きいのは、2017年から2018年にかけてとなります。よって○です。また、前年よりも減少している数値に注目し、

がい算でどのあたりの数値を計算すればよいか推測して取り組むと考えやすくなります。

イは注釈の計測期間に注目しましょう。日数が、それぞれ異なっていることがわかります。つまり同じ条件ではありませんので×です。

ウは2018年のみ異なります。したがって×です。これは注釈にもあるように、2018年は富士宮ルートでトラブルがあったためです。

エは正しいので○です。

問三 **B1** 情報を獲得する 理由 推論 具体・抽象

富士塚から富士山が見えなくなった理由は、都市化によって、高層の建物が増えたためです。また開発にともなって取りこまれた富士塚もあります。この問題では、①富士山が見られない理由として、適切な内容が書かれているかどうか、②①の内容に過不足がなく、表現や表記に誤りがないかどうかを中心にしています。

問四 **B2** 情報を獲得する 関係づけ 理由 推論

当時、交通手段は徒歩が基本であり、そのため日数も費用もかかることから、多くの人にとつて、富士山へ行くことは生涯に一度できるかできないかというものでした。そのため、富士山のご利益にあずかりたい人々は、通えるところに富士塚をつくり、身近なものとしていたのです。また、みなさんでお金を出し合い、代表者に代わりに行ってもらうということもありました。今でも関東地方の各地に富士塚がありますので、身近にいかどうか調べてみてもよいでしょう。この問題では、①富士

塚をつくった理由として、適切な内容が書かれているかどうか、②「交通」「費用」「日程」の3つの言葉全て使った上で、①に過不足がなく、文章の整合性に誤りがないかどうか、③表現や表記に誤りがないかどうかを中心にしています。

問五 **B1** 情報を獲得する 比較 具体・抽象

北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州の8地方それぞれにおいて、指定品目数の合計を出して都道府県の数で割っていくと、8地方でもっとも少ないのは北海道地方の2（総数2）となり、もっとも多いのは中部地方の7・88÷（総数71）となります。また、 $7 \cdot 88 \div 2 \parallel 3 \cdot 94$ より、およそ4倍とわかります。

問六 **B1** 情報を獲得する 比較 推論

ア 従業者数が最も多いときは288000人、最も少ないときは65000人です。その差は200000人以上となるため正しいです。

イ 1990年以降、前年と比べて1000億円以上の差で増減したことはないのです。

ウ 生産額が最も多いときはおよそ5410億円となり、最も少ないときはおよそ1020億円です。その差は5倍以上となるため正しいです。

エ 資料の縦軸について、右の軸の値を左の軸に読みちがえしているため誤りです。

問七

B2 情報を獲得する 比較 具体・抽象 関係づけ

推論

伝統的工芸品を取り巻く現状が厳しくなっている理由として、複数の原因の中から1つを選び、なぜそれが原因となるのかを説明し、どんな解決方法があるかを考える問題です。

それぞれの解決策として、例えば、①の場合は、価格では大量生産の工業製品にはかないませんので、伝統的工芸品も流行を取り入れた商品をつくることで、消費者に選んでもらいやすくなるのが考えられます。また、②の場合は、伝統的工芸品を生産する職場の環境かんきょうをより一層整え、若者にアピールすることで、仕事として選んでもらいやすくなるのが考えられます。③の場合は、昔の生活様式や、使用していたものが受け継つがれなくなってきたので、その考え方や暮らし方そのものを世の中にアピールし、伝統的工芸品のある暮らしのよさが理解され、消費者に選ばれやすくなるなどが考えられます。実際にそれぞれの課題に対して取り組みを行っている地域もたくさんあります。

この問題では、①原因を1つ選び、理由として、適切な内容が書かれているかどうか、②①の原因の解決につながる具体的な取り組みが書かれているかどうか、③①、②に過不足がなく、文章の整合性に誤りがないかどうか、④表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

2 自分の意見を記述する問題

C2 情報を獲得する 比較 具体・抽象 関係づけ 推論

筆者は花と昆虫こんちゅうの例を挙げて、それぞれの利己りこぎ的な論理のせめぎあいの結果として「共生」ができあがったと述べています。ですから、人間も利己的な論理のせめぎあいを自然や環境とすることが共生になると考えています。

その内容をまとめて一段落目だんらくに書くようにしましょう。

また二段落目には、あなたがふだんから自然や環境に対して配慮はいりょしていることを具体的に書きます。そして、本文の内容をふまえながら、どうしてその行為が自然や環境に、配慮していることになるのか、理由がわかるように書くことが求められます。

※以下のポイントを中心に見ます。

第一段落について

- ① 筆者が考える自然や環境との理想的な共生が書かれているか
- ② ①に過不足、文や語句の表現・文の意味に誤りあやまりがないか

第二段落について

- ③ あなたがふだん自然や環境に配慮した行為が具体的に書かれているかどうか
- ④ ③が、なぜ自然や環境に配慮されていることになるのか理由が書かれているかどうか
- ⑤ ③や④に過不足、文や語句の表現・文の意味に誤りがないか全体について
- ⑥ 段落が問題の指示に従したがって分けられているか
- ⑦ 答案用紙の使い方が正しいか
- ⑧ 誤字・脱字だつじ・送り仮名がな・仮名遣づかいの誤りがないか
- ⑨ 字数制限が守られているか